

4 月度第 3 週 ご受講にあたって 資料

□ 授業進度について

春休みに開講した「スタートダッシュ講座」で、「正負の数」「文字式」「1 次方程式」の基本的な計算について学習しました。4 月度の通常授業は、これら 3 つの内容について、発展的な内容にもふれながら、問題演習を通じて、理解を深めていく段階です。したがって、ご参加にあたっては、「正負の数」「文字式」「1 次方程式」を学習済みであること(基本的な計算ができる)が前提となります。なお、スタートダッシュ講座を受講された方は、その内容を復習しておけば心配ありません。

○ 次の問題を解いてみましょう。解答は最後のところに書かれています。(目安 10 分)

[正負の数]

- (1) $(+13)+(-18)-(+6)-(-9)$
- (2) $(-2)\times 1\times(-3)\times(-5)$
- (3) $(-2)^2+(-3)^2$
- (4) $-7\times(-6)+(-4)^2\div(-2^2)$
- (5) $\{(-3^2)+(-2)^3\}-\{3\times(-5)-1\}$

[文字式]

- (6) $-3\times y\times(-2)\times x\times(-x)\times x$
- (7) $(-2ab^2)^3\times a^2b\div(-2ab)^2$
- (8) $3a-6b+7c-2a+7b-6c$
- (9) $4(2x+1)-3(5x-1)$
- (10) $\frac{4a+b}{3}-\frac{a-4b}{9}$

[1 次方程式]

- (11) 方程式 $3x+1=x-5$
- (12) 方程式 $5x-1=3x+9$ を解け。
- (13) 方程式 $3-2x=-5x+9$ を解け。
- (14) 方程式 $4(x+1)-2(3x-1)=0$
- (15) 方程式 $\frac{5x-3}{4}-\frac{3(2x-3)}{8}=\frac{5(x+3)}{16}$

<解答>

- (1) -2 (2) -30 (3) 13 (4) 38 (5) -1 (6) $-6x^3y$ (7) $-2a^3b^5$ (8) $a+b+c$ (9) $-7x+7$
 (10) $\frac{11a+7b}{9}$ (11) $x=-3$ (12) $x=5$ (13) $x=2$ (14) $x=3$ (15) $x=3$

○ 受講のめやす

4 月度第 3 週の授業では、「1 次方程式」の応用にあたる内容を学習します。そのため、正解数にかかわらず、(11)~(15)にある「1 次方程式」の解き方について学習した事がない方は、事前に数学科にご相談いただくか、α3 クラスでの受講をおすすめします。

- ・ 12~15 問正解 → α3 クラスでの受講をおすすめします。
- ・ 9~12 問正解 → α1 クラスでの受講をおすすめします。
- ・ 4~8 問正解 → α2 クラスでの受講をおすすめします。
- ・ 0~3 問正解 → α3 クラスでの受講をおすすめします。

<参考①> 中学1年生・中学2年生 数学の通常授業について

授業時間は 150 分ですが、約 75 分ずつの 2 つのパート「N 授業」と「T 授業」に分かれており、それぞれを別の講師が担当するシステムで授業を行っています。

N 授業 新出事項の導入説明とその問題演習 (この回は「ある文字に関して解く(等式の性質)」

T 授業 前回の N 授業の内容の復習・問題演習 (この回は「1 次方程式演習」)

※ 「前半が N 授業、後半が T 授業」のクラスと、その逆になるクラスがあります。「1 次方程式の解き方」の理解度に不安がある方は、「前半が T 授業、後半が N 授業」となるクラスでの受講が良いかと思います。詳しくは数学科までお問い合わせ下さい。

<参考②> 通常授業への入室について

5 月 11 日(土)、5 月 12 日(日)に「入室テスト」を実施します。

これを受験することでクラスが決定し、6 月度(6 月 3 日開始)からの通常授業にご参加いただけます。

5 月実施「入室テスト」では、「正負の数」「文字式」「1 次方程式」に加えて、「連立方程式」についても出題します。